



会員の輪

「子どもと地域にシアワセを」

NPO法人ほっと・すぺーす21 理事長 すとうや えこ 周藤八重子(松江市)

「ほっと・すぺーす21」は、平成17年に活動を開始し、平成19年4月からNPO法人として松江市をはじめ県内全域をエリアに活動を展開しています。

* 子どもがほっとできる ホットライン *

県内の18才までの子どものための電話

「子どもほっとライン もしもしにゃんこ」



毎週日曜日にフリーダイヤル(0120-225-044)を開設、県内全域から年間1,500本くらいのアクセスがあります。

この「子どもほっとライン」に関わる人たちは、普段はそれぞれ別の仕事をしている「普通の人たち」です。知らない人だから話せることがあり、普通の人だからこそ一生懸命話を聴けることもある、少しの時間でも「ほっとできる心の居場所」になれば...、そんな思いで毎週電話の向こうの子どもと真摯に向き合っています。(「もしもしにゃんこ」の聴き手養成講座は、今年度も10月から12月にかけて松江市で開催する予定です。毎年、講座はとても好評で、1講座からでも受講できます。是非ご参加ください。)

* コミュニケーション力を育む *

「子どもほっとライン」を始めて半年経った頃から、電話を掛けてくる子どもだけではなく、まわりにいるおとなも「コミュニケーションの力」が不足していると感じ、少しでも改善することはできないか、それも楽しく学んでいくことはできないかと模索して始めたのが「コミュニケーション・ワークショップ講座」です。

特に昨年度は、東京のNPO法人とともに「乳幼児と親(保護者)のためのコミュニケーション・ワークショップ講座」を県内20ヶ所で開催し、0歳児から未就学児までの子どもと親、祖父母、子育て関係者などが参加、その数は1,000人近くになりました。この講座は、幼稚園・保育所・男女共同参画センター・子育て支援センター・公民館



子どもに関わるおとなのコミュニケーション力を高めるための人材育成講座
子どもの遊びは関わり方の宝庫! 「忍者、参上」

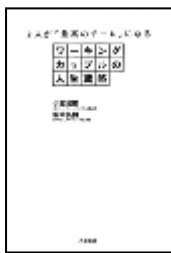
やコミュニティセンター・地域の子育て団体などと協働で開催でき、たくさんの思いを同じくする人たちと手をつなぐことができました。



乳幼児と保護者のための
コミュニケーション・ワークショップ講座
「チチンプイ! おおきなーれ」

また、3年に渡り、公益信託しまね女性ファンドの助成を受けた「人材育成講座」は、このような「コミュニケーション・ワークショップ講座」をほっと・すぺーす21として出前講座で開催する力の土台となり、幼児から高齢者まで幅広い層に対応した活動に繋がっています。

講座に参加してもらった方々から「楽しい時間だったよ、元気をもらったよ、生きる力がでたよ」と好評を博しています。「ほっと・すぺーす21は、子どもや地域にシアワセを届ける団体だね」と講座の後の茶話会で言っていました。この温かな言葉を誇りに、大切な社会のパートナーである子どもの未来のために元気に活動を続けていきます。



〔分類番号：女性問題 367.3 コ〕

**2人が「最高のチーム」になる
ワーキングカップルの人生戦略**

小室淑恵・駒崎弘樹 / 著
英治出版 (2011/6)

「生活術=仕事術である」という共働き&子育て中の2人の経営者が、仕事・時間・結婚・出産・育児・お金にまつわる考え方や、家事・育児の上手な分担方法など日々の生活の中から生み出したアイデアを紹介している。不安定な時代を夫婦というチームで共に支えあって楽しく生きていくためのヒントとなる良著。(まるみ)



〔分類番号：916/4ヨ〕

朗朗介護

米沢富美子 / 著
朝日新聞出版 (2011/3)

理論物理学者の著者が自身の老々介護の様を綴った作品。要介護5の実母の介護をとおして、これからの介護施策のあり方を指摘している。少子化という構造的な問題にともない、早晚介護だらけの社会となることは間違いない。介護は恩恵的な施策としてではなく、誰もが受けることのできる権利としての社会的施策として取り組まれるべきであると、改めて認識させられる。(ま~)



〔分類番号：女性問題 367.17ク〕

メディアとジェンダー

国広陽子・東京女子大学女性学研究所 / 編
勁草書房 (2012/1)

女性アスリートたちがメディアにもてはやされている中、その描かれ方に注目し、テレビ番組等でのどのようなジェンダーイメージが強調されているのか、その色に染めるように訴えてくるメディアの実態を検証している。著者は、解決策として、描かれる側の女性がツイッターやブログ等による電子メディアを使い、自ら情報の送り手となるのがこれからの社会を変えていく可能性に繋がると言う。メディアの在り方を見直すきっかけとなる一冊。(白くま)

information

新着図書やDVDの情報はホームページで随時お知らせしています。どうぞご利用ください。 <http://www.asuterasu-shimane.or.jp/lib/>

『情報Market』の編集に携わって10年経過。浜田からの大田通いが、よくここまで続いたと我ながら感心。大田の方が携わってくださると嬉しいです。参加を期待しています。

はっしー

私たち編集委員は、あすてらすの応援団。皆様の活動やライブラリーの書籍等を紹介しています。情報をお待ちしていますので、フェスティバルのカフェにお寄りくださいね。待ってまーす。

白くま

編集委員の
フリートーク

編集委員は5名。その内、私の天敵が2名。その上、男性は私だけ。理屈抜きの女性陣の団結力にたじたじの場面も。しかし、そこは暖簾に腕押し、柳に風と受け流しているつもり(^o^)

ま~

「あすてらすフェスティバル2012」でお会いしましょう!

今年度から、色々な展開により『情報Market』が変身する?仕事等の都合で十分に関わることが出来ず、迷惑をかけっぱなしでしたが、今年こそはきちんと活動したいと思っています。

けい

今号からスリムにリニューアルした『情報Market』いかがでしたか? 私自身もいろんなコトをスッキリさせたいけれど、悲しいかな腰が重い。「測るだけダイエット」試してみようかな。

まゆ

あなたの情報
をお待ちして
います!

本紙の内容について、ご意見、ご感想をお寄せください。また、みなさまの活動についての情報や報告等もお待ちしております。住所・氏名(グループ名)・電話番号を明記の上、郵送、FAX、メールにてお送りください。原稿は400字以内、イラスト等は書葉大以内でお願いします。掲載させていただいた方には、500円分の図書カードをさしあげます。

送付先、お問い合わせは、(財)しまね女性センター 事業課まで

